

# 会 議 録

作成日 令和4年11月9日

日 時	令和4年11月9日（水） 13:30 ～ 14:30	場 所	特別養護老人ホームすこやか苑 1F 相談室
会議名	令和4年度 第4回 運営推進会議		
出席者	家族代表・民生児童委員・地域包括支援センター職員 入居者代表（出席者とのビニールシートを挟んだ面談という形で部分参加） 施設長・生活支援課長（生活相談員）・副主任支援員（介護支援専門員）		
<p>1 開 会</p> <p>※ 簡易な自己紹介実施</p> <p>家族代表 ⇒ 地域住民の代表者 ⇒ 施設長 ⇒ 生活相談員 ⇒                  地域包括支援センターの職員 ⇒ 副主任支援員の順で自己紹介を行った。</p> <p>2 挨拶 施設長</p> <p>※ 以下の点で報告と挨拶あり</p> <p style="margin-left: 40px;">本日は、お集まりいただき誠にありがとうございます。</p> <p style="margin-left: 40px;">コロナ関係では第7波も落ち着き、当苑における面会もリモートからスクリーン越しでの面会に緩和したところですが、第8波も懸念されることから、まだまだ予断のできない状態なので、今後も気を引き締めていきたいと思ひます。当苑では、職員の罹患や職員の家族が罹患することはありませんが、施設内でクラスターは発生していない為、引き続き感染予防対策の徹底に努めていきたいと思ひます。</p> <p style="margin-left: 40px;">本会議でも後程ご紹介しますが、当苑では、令和2年度より看取り介護の体制を整備してきました。看取りに対する理解を深める為、外部講師をお招きして研修会を開催し、看取り介護実施委員会では、その都度振り返りを行っています。今後もご家族の皆様に満足していただけるような看取り介護を目指していきたいと思ひます。</p> <p style="margin-left: 40px;">本日は、すこやか苑の運営状況について、情報交換したいと考えていますのでよろしくお願ひします。</p> <p>3 議 事</p> <p>(1) すこやか苑の運営状況について</p> <p style="margin-left: 20px;">※別添「令和4年度第4回特別養護老人ホームすこやか苑運営推進会議資料」参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料に沿って、令和4年9月～10月における入退所状況・事故・研修・行事等の報告を行った。（報告者：生活相談員）</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">Q：短期入所はロングでも利用することはできるのか。（地域包括支援センター職員）</p> <p style="margin-left: 20px;">A：短期入所の制度や料金（自己負担）について、十分に説明した上で同意が得られれば利用することはできる。</p>			

(2) 看取り介護実施状況について

※別添「特別養護老人ホームすこやか苑 看取り介護指針」「これからの過ごし方について」参照

- ・ 資料に沿って、看取り介護実施状況について報告を行った。

(報告者：副主任支援員)

令和4年度は、5名の方が退所。内、看取り対象者3名中、2名の方を看取ることができた。

4 意見交換

Q：自由ヶ丘町会、浜館町会で開催した「こころの縁側」事業について、地域住民の反応が知りたい。

(生活相談員)

A：身体を動かし、皆で楽しく過ごすことができた。施設利用料金等の説明もあり、参加された住民の方はとても満足していた様子。(民生委員)

Q：他、町会（桐ノ沢町会や駒込町会）にも来ていただけるものか。(民生委員)

A：是非、参加したい。(副主任支援員)

Q：地域包括支援センターで行っている「認知症カフェ」について詳細が知りたい。(生活相談員)

A：前は訪問マッサージの方に参加してもらい、認知症に関連付けながら軽体操等を行った。取り組みは今月末で今年の方は終了。コロナが始まってから外出を控える傾向が強くなり、参加者も減っている。自宅にこもるよりは、少しでも外出してもらいと考えている。(地域包括支援センター職員)

Q：民生委員が自宅訪問した際「認知症カフェ」のチラシを配布することはできるものか。(民生委員)

A：是非、お願いしたい。(地域包括支援センター職員)

5 その他

- ・ 入居者代表と各委員がビニールシート越しにて面談を実施。生活状況等を確認してもらった。

Q：髪の毛が大分伸びている様子だが、散髪はどのような形になっているのか。(家族代表)

A：散髪のペースは個人によるが、1回/2ヶ月が平均的である。対象者は今月17日散髪の予定となっている。(副主任支援員)

- ・ 次回委員会は、令和5年1月18日(水)13:30～を予定とするが、事前に連絡を取り、皆さんが参加できる日時に変更する場合もあり。

6 閉会

○入所状況

■入 所	定員 29人	
■稼働率	9月 ( 95.5% ) ※入所 1名 退所 2名 退院 1名	10月 ( 95.6% ) ※入所 2名 退所 0名 入退院 1名
■平均介護度	9月 ( 4.1 )	10月 ( 4.1 )
■平均年齢	9月 ( 90.8歳 )	10月 ( 90.7歳 )
■入所申込状況	9月 ( 1件 )	10月 ( 0件 )
	※総待機者数 51名 (10月末付け)	

■短期入所	定員 10人	
■稼働率	9月 ( 70.6% ) ※入所 3名 退所 2名	10月 ( 68.7% ) ※入所 3名 退所 6名
■平均介護度	9月 ( 3.0 )	10月 ( 2.6 )
■平均年齢	9月 ( 89.2歳 )	10月 ( 88.7歳 )

○事故報告について

※ 毎月安全委員会にて対策検討

■令和4年

区 分/月	9月	10月
ヒヤリハット	2	1
アクシデント	10	5
事故 (Lv3以上)	0	1
合計	12	7

ヒヤリハット・アクシデント内容

区 分/月	9月	10月
転倒・転落	7	5
服薬	2	1
誤嚥	2	0
離ユニット	1	0
意識消失	0	1

※ ヒヤリハットも含む。

■事故事例（事故 Lv3 以上：通院を伴った事故ほか市役所へ事故報告したもの）

区 分	発生日	内容・対応
誤薬 (入所)	10/10 (月) 12:20	<p><b>【発生時の状況】</b></p> <p>12:20 昼食を終え食席で過ごしていた。他入居者の食事介助の合間に食後の薬を持って、A 様の食席まで行った。A 様の前で薬包に記載されている名前を読み上げ服薬介助を行った。</p> <p>12:30 他入居者の服薬を行う為、配薬ケースを確認したが、薬がない事に気付く。A 様の食席に設置している簡易のゴミ箱より、他入居者の薬包を発見し、誤薬をさせてしまった事に気付いた。</p> <p><b>【対応】</b></p> <p>12:30 誤薬に気づき、看護師に報告した。薬の内容から下剤と整腸剤であることを確認し、様子観察の指示を受けた。水分は拒否する傾向にあるため、ゼリーやヨーグルト等を摂取していただき水分摂取を増量した。誤薬後、特に変わった様子なく過ごした。</p> <p><b>【今後の対策等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・服薬介助マニュアルどおり、服薬箱から薬を持ち出す際及び与薬直前に薬袋の氏名、配薬時間を声に出して読み上げ、本人を確認の上与薬することを再確認。</li> <li>・車椅子や食席に本人氏名を貼付し、呼名に返答が難しい方でも本人確認ができるようにした。</li> </ul>

○身体拘束廃止への取り組みについて

※9月～10月時点で身体拘束にあたる案件なし。

○職員研修等

- ・9/28 (水) 看取り介護研修  
 テーマ：これからの看取り～平穏死～  
 講 師：青森県立中央病院  
 がん看護専門・緩和ケア認定看護師 12名参加
- ・10/26 (水) 感染症対策研修②  
 テーマ：ガウンテクニック練習  
 講 師：当苑看護師 8名参加

※ 上記ほか、法人・外部研修へ数名参加

○全体行事やユニット行事等実施状況（9月・10月）

9/16（金）・9/18（日）各階ごとによる敬老会

9/21・10/12（水）書道クラブ

9/28（水）創作クラブ・10/26（水）音楽体操クラブ

10/19（水）防災訓練